

よいしょ〜!



第24号 2017年3月28日 発行

発行
日本キリスト教団東北教区
被災者支援センター・エマオ
〒980-0012
仙台市青葉区錦町1-13-6
TEL : 022-265-0173
FAX : 022-265-0174
受付時間：午前8時～午後6時
定休日：日曜日・月曜日

公式ホームページ <http://emao311.org/>
メール tohoku.uccj@gmail.com



「よいしょ〜!」をお届けします。七郷中央仮設住宅のラジオ体操にエマオが参加させていただいた2011年冬以来、これまで毎朝のように「よいしょ〜!」と掛け声を掛け合い一日が始まる日々をご一緒させていただきました。5年余の月日の中で、みなさまと一緒に過ごす時間をご紹介したり、また参加を呼び掛けるために2013年2月の創刊以来、「よいしょ〜!」は今号で24号を発行することになりました。これまでのご愛顧に感謝申し上げます。

「七郷地区仮設同窓会」総会も無事開催され、仮設住宅で芽生えた繋がりがさらに育ち行こうとしています。「仮設住宅の最後まで」と活動してきたエマオは、元・仮設住民による自治組織としての同窓会が立ち上がったことを見届け、関わりも少しずつスリムになりつつあり、「よいしょ〜!」も今号で一旦休刊することにいたしました。なお「活動カレンダー」は、これからも同窓会を通じお届けすることになりますので、今後もお活用ください。今春までお世話になったスタッフからのメッセージをお届けいたします。

一泊お泊り@松島 2017.3.19~20

相変わらずの強風でしたが、快晴に恵まれたこの日、3月19日・20日に5回目となる「一泊お泊り会」をホテル壮観で開催しました。待ちに待った年に一度の一大イベント。昨年の「一泊お泊り会」の懇親会で「同窓会構想」が飛び出し、一年後には「七郷地区仮設同窓会」は会員34人を擁する交流自主団体となって、今回の「一泊お泊り会」を計画するに至りました。会員11名の参加を得て同窓会総会が無事開催され、活動・会計報告並びに年度計画案が示され、承認されました。併せてエマオ参加者のうち、この3月末でエマオを離れる4名のスタッフの「卒業式」があり、同窓会のみなさまからの記念品を過分にも頂戴しました。みなさま、本当にありがとうございました。

続く「宴会」では舌鼓を打ちつつ、みなさまからの心温まる一言メッセージを聴き合いました。カラオケでは拍手喝さいの中、マイクを手に手にみんなそれぞれ似合いの歌を歌って、歌って大演会となりました。もちろん「宴会」のお開きの後も「2次会」で、名残惜しい長い夜となりました。

彼岸にかかる3連休ということもあり、それぞれのご家庭でのご用事が重なったことから、予定しつつも参加の少なくなった方々も多くあったことは残念でしたが、それでも温泉に浸かって体も心も伸びやかになって、温かくなる時を過ごしました。また来年を楽しみに…。



荒井2号・7号公園 最期の「昼食会」

荒井2号公園仮設住宅と荒井7号公園仮設住宅での「昼食会」は、それぞれ2013年夏から始まりました。これまでに多くのワーカー・ボランティアを始め、食事作りボランティアの方たちによって、仮設に住まわ



れていた方々とのステキな時間を作ることが出来ました。「仮設住宅解消」に伴い2016年夏以降、七郷市民センターを会場に、2号仮設・7号仮設合同で続けてきましたが、この日3月2日が最期の昼食会となりました。食事作りのボランティアの方々は、少しでも日々の潤いが感じられるよう季節や暦を配慮したメニューを毎回工夫して食卓を彩ってくださいました。今日のメニューは「雛祭り」。

最期ということで仮設で手ほどきを受けた「大正琴」の演奏があり、これまでのエマオとは趣きがちょっと変わった雅な空間が演出され、思い出深い昼食会となりました。

みなさんからも一言ずつのメッセージを交わし、これまでの出会いとつながりを思い起こすとともに、より味わい深い時となりました。もちろん何を食べるかが関心事ではありますが、食事は誰と食べるか、どんなふう食べるかが、その食卓を豊かにする大事な要素であるをつくづく思わされ琉日々でした。

食卓を豊かにするために、心配りをしてくださったみなさま、参加くださったみなさまに、改めて感謝します。これまでの食卓すべてに…、ありがとう!!

※「よいしょ〜!」とはラジオ体操のときの掛け声から名付けました。ご感想やご意見などをお待ちしています。



感謝の気持ちは言葉に尽くせませんが…。限られた字に思い込めて、みなさまにエマオスタッフからメッセージを届けます。



七郷中央、荒井7号、荒井2号それぞれの仮設の姿が、今も目に焼き付いています。建物だけでなく、ギラギラと照らす太陽の中(草取りお手伝いのイメージが強い?)で、冷房の効いた集会室から聞こえてくる笑い声、そして生活の息吹も。お手伝いに伺ったはずの私たちエマオを、温かく迎えていただき、むしろ沢山の出会い・学びを与えていただきました。心より感謝しています。

つい先日、仙台を離れ熊本・荒尾での生活が始まりました。皆さんからいただいた「温かさ」を胸に一つ一つに励みたいと願っています。「これからも」よろしくお願いします！ 佐藤真史

14名のスタッフ体制で今日まで活動を続けてきたエマオは、新年度(2017年度)から3名のフルタイムスタッフ+1名のパートタイムスタッフとなります。これからの仕事について、この体制で可能なことを検討中です。

残るスタッフの一人として、この6年間のエマオの働き、実績をどのように受け継げるのかと思い悩んでいます。皆様の「信頼」を力に精一杯働きます。よろしくお願いします。 菊地護

私が初めて仙台に来た2014年5月は、七郷中央公園仮設に半数近くの方がまだ残られていて、徐々に引越されていきました。2016年12月のエマオを会場に行ったクリスマス会では、1年ぶり来たワーカーから、みなさんの表情が1年前とは違い「おだやかになった。」「笑っていらっしゃる。」と言われました。本当にそうだと思います!!新しい生活に移られて1年以上。同窓会もつながり続け参加者が増えましたね。また同窓会でみなさんとお会いできたらと願っています。 高橋千沙子

あれから7度目の春。今では「よいしょ〜!」の掛け声も懐かしく…。ラジオ体操で出会ったみなさんとの思い出は、多すぎて一人では抱えきれないほどです。“ペロ”にずんだ餅、“煮”など一緒に食べて…。甦っていった笑顔は大変眩しく思えました。一緒に笑った毎日は、ステキな日々でした。ありがとうございました。神戸に戻るとなかなか会うことができないませんが、生きていればまた会えると信じて仙台を発ちます。これからもみなさん一緒に生き抜いて活きましょう。わたしが生き続ける限り、荒浜や仮設のみなさんのことは忘れることはありませんよ…。ご安心を! しばたしんや

七郷地区仮設同窓会のみなさまとは仮設集会所でのラジオ体操からのお付き合いとなります。他様々なワークをさせていただき、みなさまと楽しい交流の時を持ちました。

エマオスタッフとしての任は解かれますが、皆さまと同じ仙台市民の一人として、これからもお付き合いできればと思っております。

これからもよろしくお願いします。 千葉正彦

昼食会やイベントなどの時に、みなさんとお会いするようになって4年くらいになります。いつも「美味しかったよ。ありがとね〜」の言葉が聞きたくて、毎月、集会所に伺っておりました。最近では親戚のおじちゃん、おばちゃんに会いに行くような感じしております。そして、笑顔で迎えていただくとその日、朝からの昼食作りの手配などの緊張感がホッと和みます。本当にありがとうございます。

みなさん「4月からエマオは変わるらしい…」とあっていらっしゃるでしょう。いいえ、違います。メンバーがちょっと減りますが、もう少しお邪魔させてください。一緒に楽しい時間を持たせてください。そして大声で歌ったり笑ったりさせてください。

これからも、そしてずっと…よろしくお願いします。 戸枝季子

事務スタッフのはたやです。

事務ワークのペースが遅くて、現場になかなか出られませんでした。けれど、スタッフミーティングを通して、ラジオ体操や昼食会、おでかけなど豊かな時間を過ごしている様子をお聞きし、うれしく思っています。こんなぼくですが、ラジオ体操や夏祭りのサポートなど、ほんのわずかですが行かせていただきました。名前を覚えてくださってうれしいです。

3月末でこの働きを離れますが、仙台市内にいる予定です。どこかでお会いした時は、遠慮なくお声がけください。出会いに、感謝。

2017年4月からエマオのセンター長としてみなさまと繋がっていきます。わたしは今まで、大きなイベントの時だけの参加でした。これからはちょくちょく顔を出します。住まいは地下鉄東西線川内駅から徒歩7~8分のところです。どうぞよろしくお願いします。 小川幸子

お問い合わせ：日本キリスト教団東北教区被災者支援センター・エマオ

〒980-0012 仙台市青葉区錦町1-13-6 電話：022-265-0173 FAX：022-265-0174